

4. ゾーニング

前頁で検討したまちの将来像を実現させていくべく、「ゾーニング」を以下のとおり定めます。

1 新都市生活創出ゾーン

市の中心部として、様々な世代や対象に向け、守口のこれからの新しいライフスタイルを創出していくための機能導入を充実させていくゾーン

3 魅力界隈ゾーン

住む人にとっても訪れる人にとっても、界隈性がある「親しみ」があり、魅力的な商業機能中心のゾーン

5 歴史文化ゾーン

京街道沿いの一体的なまちなみ形成に取り組みながら、個性ある店舗や施設の立地を誘導していくなど、「守口の個性」を継承し、新たに創出していくゾーン

2 賑わい交流ゾーン

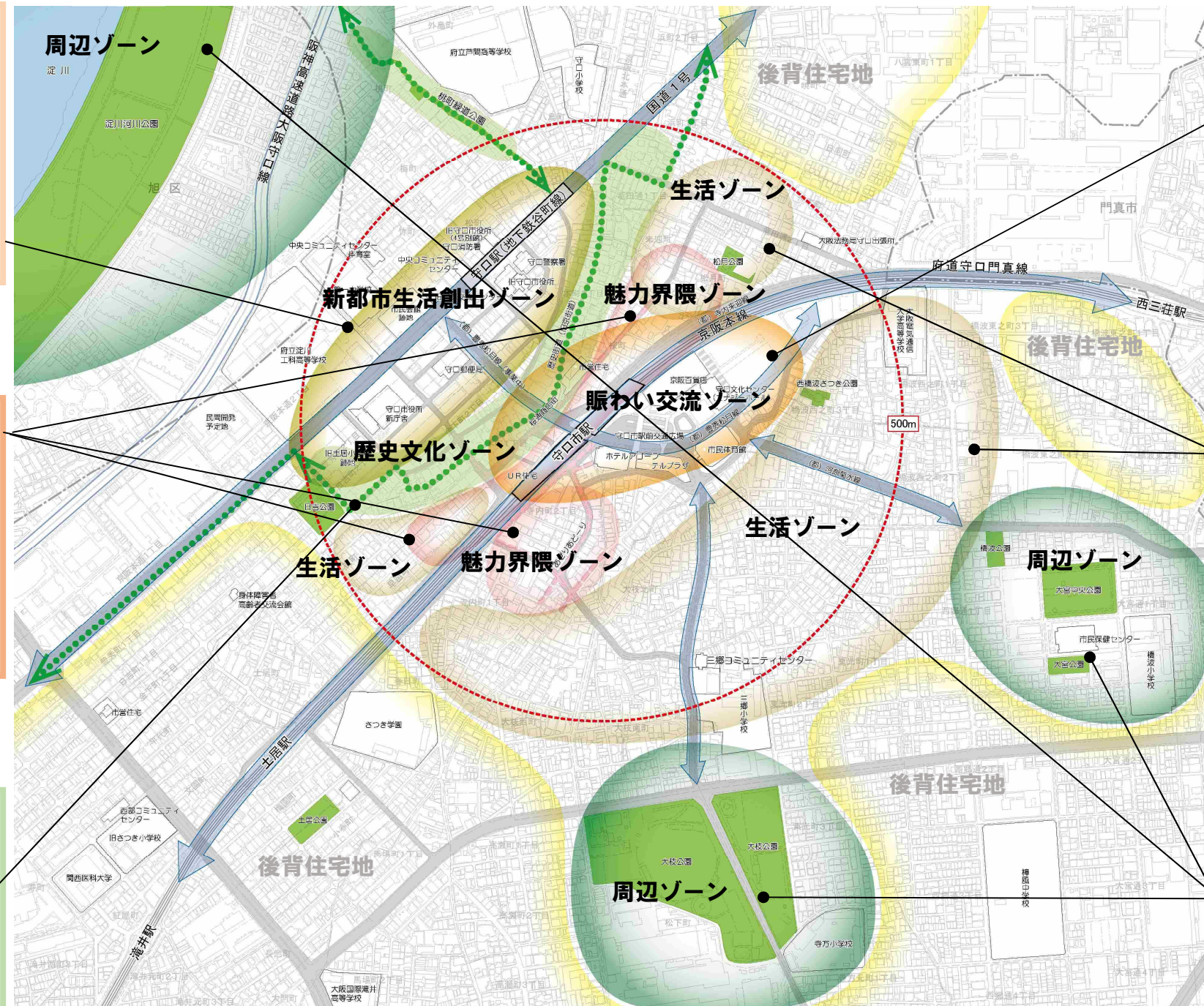
市の玄関口として、今後もさらなる賑わいや交流を生み出していくゾーン

4 生活ゾーン

戸建住宅や共同住宅などが立ち並び、それぞれの環境に合わせた居住機能を中心としたゾーン

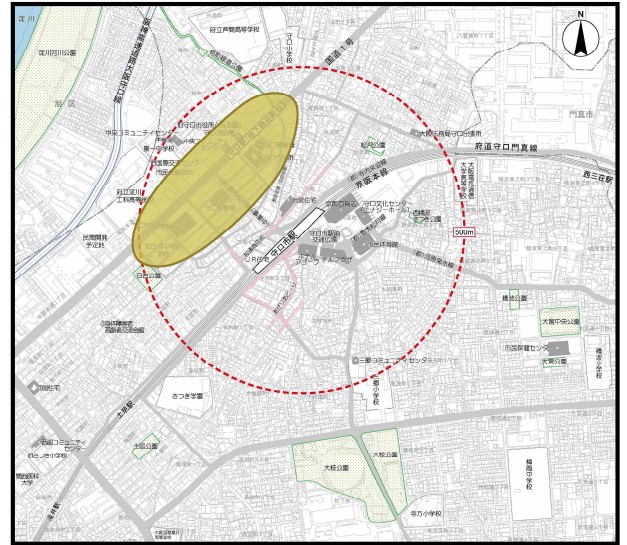
6 周辺ゾーン

- ・ 淀川河川公園とその周辺
- ・ 大枝公園とその周辺
- ・ 市民保健センターとその周辺



1 新都市生活創出ゾーン

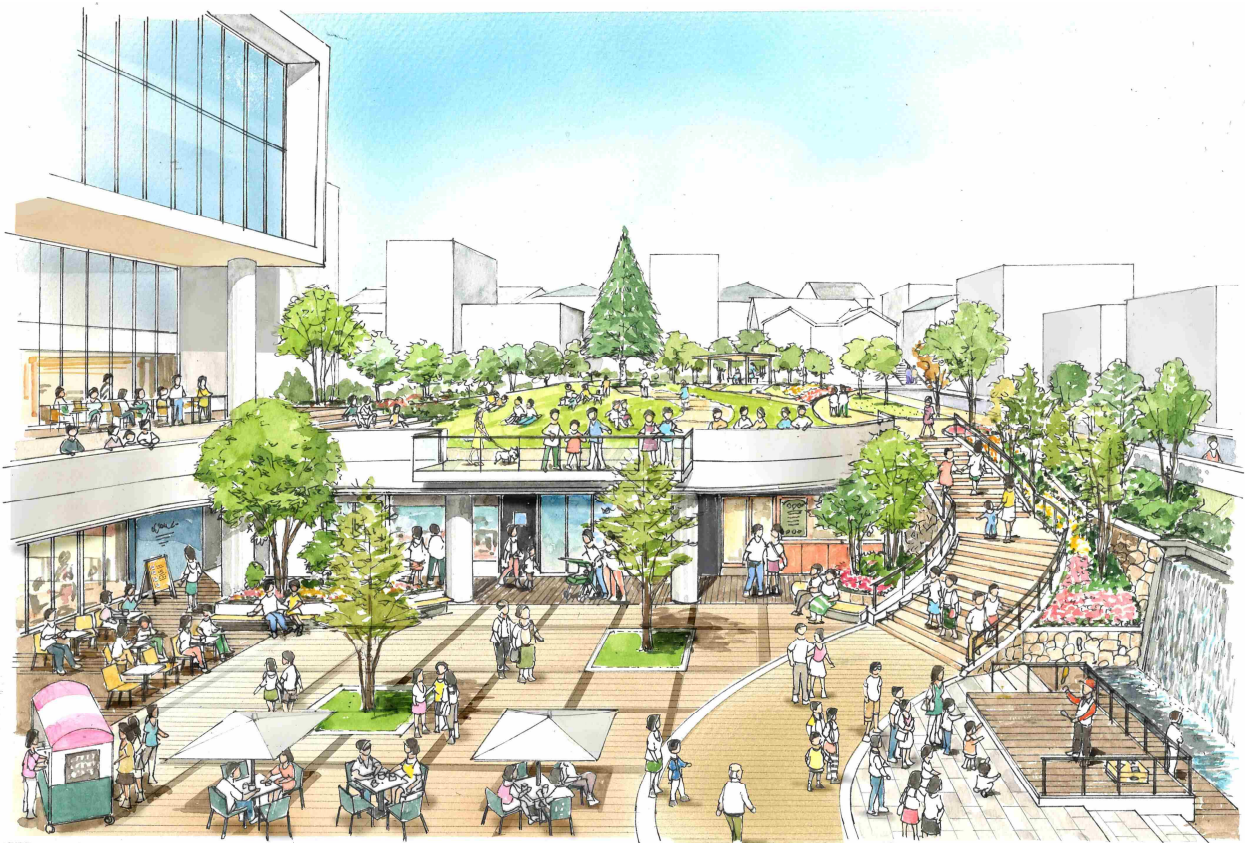
市庁舎をはじめとする多くの公共施設が集積しているエリアについては、市の中心部として、様々な世代や対象に向け、これからの守口の「新しいライフスタイル」を創出していくためのゾーンとします。



●方向性

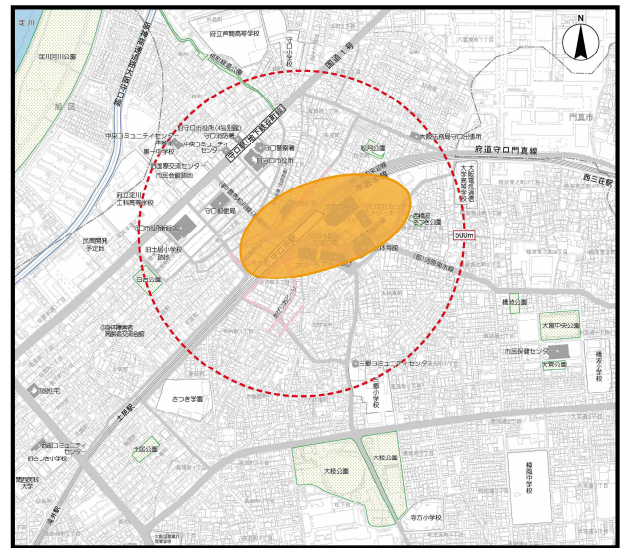
新都市生活創出ゾーンは、公共公益施設が集積するシビックゾーン的な機能も担っており、その特性を活かしながら、今後も都市核の中心部として、守口の新しい都市イメージをつくりあげていく重要な拠点となります。

また、公共施設再編等に伴い発生した跡地を有効活用し、これからの守口の「新しいライフスタイル」を創出するような魅力的な都市機能を誘導していきます。



2 賑わい交流ゾーン

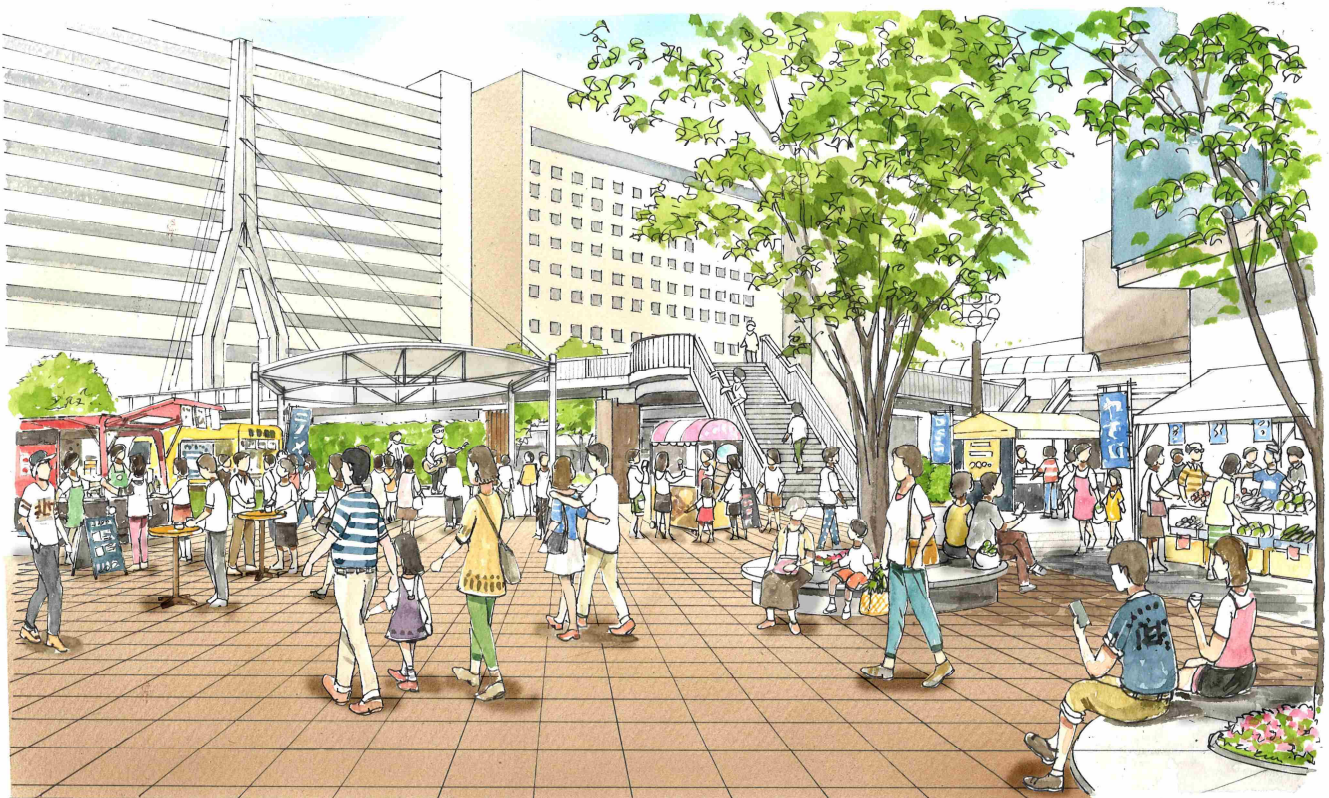
百貨店やホテル、文化センターや体育館、駅前広場などの多数の施設が存在するエリアについては、市の玄関口として、今後もさらなる賑わいや交流を生み出していくゾーンとします。



●方向性

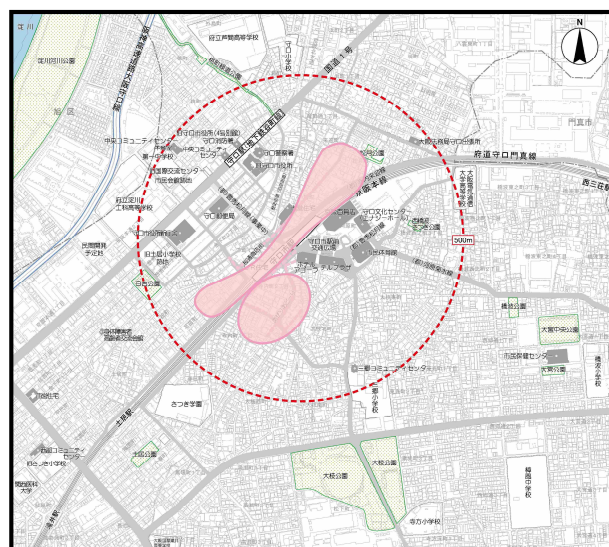
賑わい交流ゾーンは、まさに市の「玄関口」であり、来街者にとっては、最初に守口市の印象を与える非常に重要な立地となります。

「玄関口」にふさわしい「まちの佇まい」をつくるとともに、ホール機能をはじめとする賑わい・交流の核となる施設を誘導することで、今後もさらなる賑わいや交流を生み出していきます。



3 魅力界限ゾーン

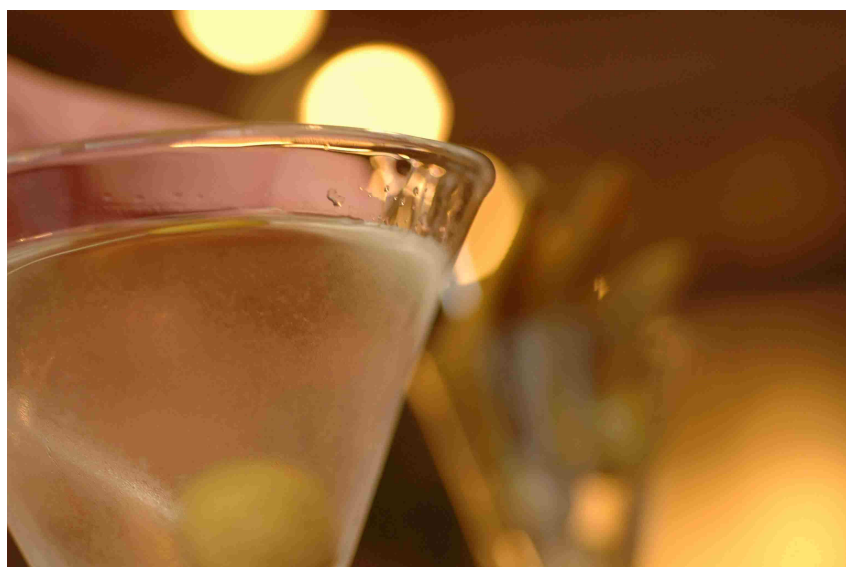
商店街をはじめとする地域密着型の商業機能が集積するエリアは、市民や来街者にとって界限性があって「親しみ」があり、魅力的な商業機能中心のゾーンとします。



●方向性

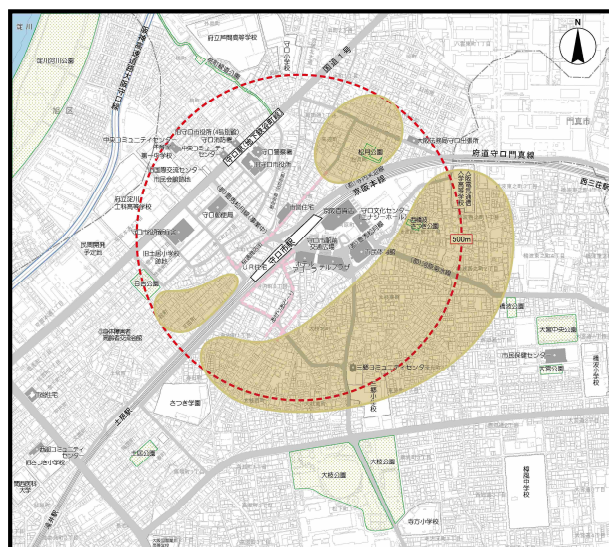
魅力界限ゾーンは、「賑わい交流ゾーン」と周辺ゾーンとの歩行者動線をつなぎ連続させていく重要なエリアを担っています。

また、現在、地域密着型で「守口らしさ」が感じられる魅力的な店舗などが増えてきており、今後も、こうした魅力をさらに向上させていくべく、歩きやすい歩行者空間をつくっていくとともに、立地特性にあった新しい魅力店舗を誘導し、まちの回遊性を高めていきます。



4 生活ゾーン

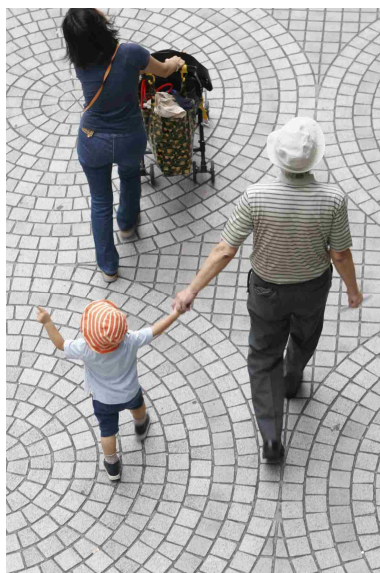
戸建住宅や共同住宅などが立ち並ぶ、都市核周辺のエリアについては、それぞれの環境に合わせた居住機能を中心としたゾーンとします。



●方向性

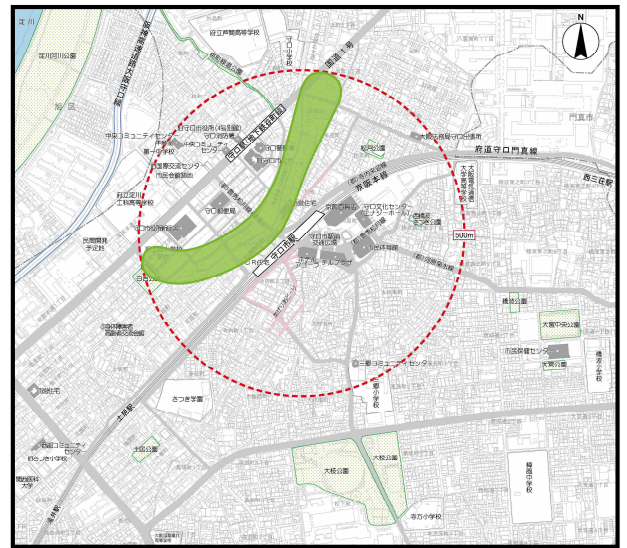
生活ゾーンは、都市核周辺、ひいてはその后背の住宅地であり、今後の「定住促進」を支えていくエリアですが、箇所によっては、老朽化した建物の更新やそれに併せた生活道路の整備などが課題となっています。

今後は、将来の建物の更新に合わせ、多世代が定住できる魅力ある住宅市街地の形成を図っていきます。



5 歴史文化ゾーン

文禄堤（京街道）を中心としたエリアについては、京街道沿いの一体的なまちなみ形成に取り組みながら、個性ある店舗や施設の立地を誘導していくなど、「守口の個性」を継承し、新たに創出していくゾーンとします。



●方向性

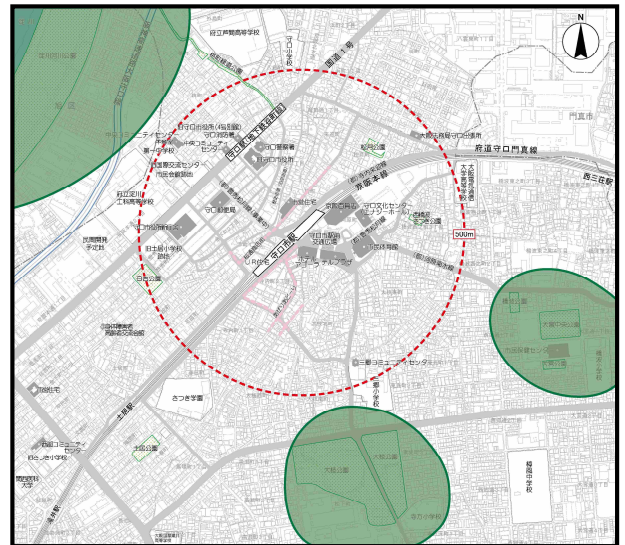
歴史文化ゾーンは、現況は、文禄堤などで高低差があり、ややもすると市街地の歩行者動線を分断する要因ともなっていますが、市の歴史を継承し、「守口の個性」をつくりあげていくための重要なエリアです。

今後は、文禄堤（京街道）の高低差をメリットとして活かすとともに、歴史文化資源として積極的に整備活用しながら「守口ならではの」という「らしさ」を演出していきます。



6 周辺ゾーン

淀川河川公園、大枝公園、大宮中央公園などの都市公園を中心としたエリアについては、それぞれの立地環境を活かし、都市核中心部と連携させながら、健康、福祉、交流、うるおいなど、市民生活に新しい魅力を創出させていくゾーンとします。



●方向性

淀川河川公園を中心としたゾーンは「うるおい」と「環境」をテーマとし、本市の貴重な自然的資源であるという価値を再認識し、都市核とのつながりを強め、積極的に活用することで、都市核周辺ひいては市全体の魅力を高めていきます。

大枝公園とその周辺のゾーンは「スポーツ」と「防災」をテーマとし、現在再整備中の大枝公園を中心とし、市民のスポーツ振興や防災性向上などに寄与するまちづくりを進めていきます。

市民保健センターとその周辺ゾーンは、「健康」や「福祉」、「交流」をテーマとし、大宮中央公園などを含めて、市民の健康増進を高めていきます。

